



「知事との

特集

ふれあい対話」開催

獅子島架橋などを要望

11月21日、塩田康一鹿児島県 事とのふれあい対話」や東町漁協 知事が来町しました。 水産総合加工場の視察を行った

たくさんの町民からの歓迎を 塩田知事に町民からは獅子島架 受けた塩田知事は「心温まる飲 橋や農林水産、商工業などの要 迎をいただき、ありがとうございます。 望が出されました。

ました」と感謝を述べました。 今号では、「知事とのふれあい 町文化ホールで開催された」知 対話」の主な内容を紹介します。

町文化ホールで開かれた「知事とのふれあい対話」には傍聴者85人が見守る中、さまざまな職種の方々が登壇しました。冒頭、塩田知事が「自由に発言してもらい、幅広く地域の課題を出していただきたい」とあいさつし、司会を務めて進行しました。主な質疑内容は次のとおりです。



獅子島架橋

○獅子島で農業をしているが、輸送コストや営業機会のロスがネックとなっている。獅子島の経済活動活性化のために架橋の必要性を訴えたい。

「知事」島民の皆さんにとって、架橋は防災、医療、観光面など島の発展には有効である。国への要望活動の中で取り組む事項の1つだと考えている。時間を掛けてどのような方法で実現できるかを検討していきたい。

一次産業の取り組み

○県は農産物、水産物ともに良いものを作れる環境にある。販売力が課題なので、全国に向けてマーケティングの活性化に期待する。

「知事」関係機関一体となって販売力強化に取り組んでいきたい。

○町の農産物は主に赤土バレイショや紅甘夏、肉牛などを生産している。これらの品目について、県はどのように販売促進するか考えを教えてください。

「知事」ブランドを確立し海外への販路を拡大していく。10月、海外で51店舗を展開するドン・キホーテ運営会社のパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PIH）と連携協定を結んだ。今後、PIHが東南アジアを中心に展開するフェアなどを通じて輸出を増やしていきたい。

「知事」農業の人手不足は心配している。外国人労働者の受け入れなどを含めて、農業の人材確保に取り組んでいきたい。

○農業の担い手不足を解決するための展望を伺いたい。

「知事」生産性を上げるために農地の集約化やスマート農業導入を進め、就農者を増やしたい。

○町では、長岡技術科学大学とともにジャガイモの種芋研究を行い、町内での種芋生産を目指している。



車中で知事へ意見を述べる出席者

「知事」ジャガイモの種芋生産が普及することは安定生産確保のために非常に重要なこと。経済効果も期待している。

○町内にジャガイモの種芋を生産するための種苗センターを設置してほしい。

「知事」県農政部を中心に検討していきたい。

○サツマイモに被害を与える基腐病の対策をお願いしたい。

「知事」基腐病は平成30年度から県内で発生しているが、原因がよく分かっていない。現在は大隅と南薩、熊毛地区でプロジェクトチームをつくり基腐病の対応策を検討している。消毒方法や残渣処理の方法などを見直し感染対策を確立していきたい。県の農業開発総合センターでは、防除するための薬剤を農業登録に向けて取り組んでいる。

○基腐病被害を支援する補助金が10ヶ当たり2万円と低く、農家を支援出来ない。手厚い補償をお願いしたい。

「知事」農家の皆さんの意欲を支えるために追加の支援策を検討したい。

○基腐病被害対策のために、サツマイモの低温貯蔵庫を整備してほしい。

「知事」県でも研究を進め対応したい。

○ミカンコミバエの対策をお願いしたい。

「知事」ミカンコミバエは錦江町や指宿市など県本土でも発生しているが、定着しているわけではない。しっかりと消毒対応を行う。

○前回の全国和牛能力共進会で優勝したが、鹿児島黒牛の知名度は全国で低い。知名度を向上させて、販路拡大をお願いしたい。

「知事」知名度を上げるために、令和4年地元開催の全国和牛能力共進会で皆さんとともに日本一を目指したい。

○9月に長島、阿久根、出水による肉用牛ヘルパー組合が設立され、畜産農家が休みをとれる仕組みができつつある。後継者育成のために必要な制度なので、県としても継続的な支援をお願いしたい。

「知事」運営面で今後どのような方法で進めればよいか検討したい。



塩田知事へ加工場の説明を行う東町漁協職員

○有害鳥獣被害対策として、ジビエの加工場を整備すれば農産物被害の減少、ジビエの商品化につながると考える。

「知事」ジビエの加工場は県内数カ所あるが、今後もしっかりとした体制を組み、取り組んでいきたい。

○県はブリ、カンパチ生産量が日本一の水産業の県だが、水産業に関する予算が少ないと思う。

「知事」皆さんが安心して活動できる体制をつくっていただきたい。

○東町漁協が新加工場建設を予定している。現在の加工場は建設から26年が経過し、老朽化が進んでいる。従業員の高齢化も進み、将来は人手不足も懸念される。大規模で安定的に供給できる加工場建設に協力いただきたい。

「知事」ブリの付加価値を高め、需要に合わせた対応をしていけるように県としても一緒に取り組んでいきたい。



歓迎の横断幕を準備した東町漁協職員

○国が水産物輸出に力を入れていますが、県としても輸出の後押しをしてほしい。

「知事」現在、長島のブリの輸出は北米が多い。新たな市場開拓を一緒に取り組みたい。

○幣串の消波堤が1機沈没した。養殖業に支障を来している。早期に対応いただきたい。

「知事」赤潮対策などとともに協力したい。

観光の取り組み

○長島はツーリングの名所としてライダーから親しまれているが、「県道は標識が少ないので、道が分かりにくい」という声を聞く。「ぐるっと一周フラワーロード」にふさわしい花柄模様の標識をつくってほしい。

「知事」県道を確認し、支障があるような場所是对応したい。



当地映画を集めた映画祭を映画館以外で開催すればにぎわうのでは。

「知事」映画祭の開催には各自治体の協力が必要。県の文化・観光振興の一環として考えたい。

道路の整備

○黒之瀬戸大橋が開通して46年になる。老朽化が進んでおり、災害時に崩落するのではないかといつも不安である。今の橋が安全なうちに新しい黒之瀬戸大橋の建設を進めてほしい。

「知事」現在の黒之瀬戸大橋の状況を確認する。

○阿久根市の西目インターチェンジ(IC)から薩摩川内市の水引IC間の高速道路開通はいつになる予定か。

「知事」いつになるかは明言できないが、早期に実現したい。先日全線開通へ向けて熊本県知事とともに国に要望活動を行った。

教育の取り組み

○ICT教育で長島に居ながら世界中でさまざまな人と交流できる機会とそれを実現するための機器の導入をお願いしたい。

「知事」オンライン教育は進める予定だが、現場の先生たちの声や時間的制約などの課題があるので考えていきたい。

○国では、児童1人に1台の学習用端末を導入する「GIGAスクール構想」が進んでいる。児童が長時間ディスプレイを見続けることでのような影響があるのか。

「知事」児童の健康に対する影響は何とも言えない。小さいころからパソコンに触れ技術革新を体験することは大事と考える。

福祉の取り組み

○日本全体で介護人材不足となっ

その他

○中小企業や個人に特化した知的財産の取得活用に関する法的補助制度があれば教えていただきたい。

「知事」中小企業が知的財産取得するためには、収益を上げるまでの初期投資が負担になっていると考えられる。知的財産を取得するための優遇措置はある。公益社団法人鹿児島県工業倶楽部では、知的財産に関する総合窓口があるので、問い合わせいただきたい。

○県政を進める上で大事にしている考え方を教えてほしい。

「知事」法律の解釈や人への説明を想定して判断基準を考えている。

○町内で地域おこし協力隊として活動していた。県内の地域おこし協力隊に関する窓口は県地域政策課が担っているが、隊の任務に関するある担当課へ直接つないでいただけるスキームがあれば有効と考える。



塩田知事を歓迎する町商工会女性部

「知事」スキームを作らなくても窓口が意識を持てば、皆さんからの相談を受け付けることができると思う。担当課へ問い合わせいただきたい。

○県として、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを呼び掛けてほしい。

「知事」県の方向性を示すための皆さんへのSDGsの呼び掛けは今後必要と考えている。



「ふれあい対話」終了後、塩田知事と記念撮影